

## 講演会・カンファランス等のご案内

### 北九州地区小児科医会のご案内

※11月の例会は中止です。

#### 第573回北九州地区小児科医会例会 (WEB開催)

日時：2021年12月16日 (金) 19:00～20:00

講演：「インフルエンザの最新情報:再びの流行に備えて」

演者：株式会社リチェルカクリニカ 代表取締役  
日本臨床内科医会 インフルエンザ研究班  
リサーチディレクター 池松 秀之 先生



※事前登録の申し込みが必要です。

担当:塩野義製薬(株)松井 暲汰

QRコードもしくはryota.matsui@shionogi.co.jpの担当者あて  
にご連絡ください。(締め切り2021年12月10日(金))

### その他講演会などのご案内

#### 第441回小倉小児科医会臨床懇話会(Web 講習会)

日時：2021年11月25日 (木) 19:00～

演題1：「失神発作との鑑別を要した発達障害の一例」

演者：北九州市立総合療育センター 小児科 鈴木 聖子 先生

演題2：「療育センター長期入所の現状」

演者：北九州市立総合療育センター 小児科 藤田 弘之 先生

<要事前申込> 連絡先:小倉医師会 TEL.093-551-3181

#### R3年度第1回乳幼児健診登録医療機関研修会 (終了)

日時：2021年11月8日 (月) 19:00～

場所：北九州市立商工貿易会館 2F 多目的ホール

報告：「R2年度乳幼児健診等結果について」

北九州市子ども家庭局子育て支援課

演題：「乳幼児歯科健診と低ホスファターゼ症の  
医科歯科連携」

演者：北九州市歯科医師会 専務理事

板家小児歯科院長 板家 隆 先生

※昨年度はコロナ禍のため研修会は1回しか開催できませんでした。本来は年1回以上の出席が義務づけられていますが  
昨年度出席できなかった登録医療機関は今年度最低1回出席で  
登録医療機関として継続されます。

(R3年度第2回の研修会はR4年3月に開催予定)

### 産業医科大学カンファランス・セミナー

現地とWeb配信のハイブリッドで開催いたします。

Webでの参加をご希望の先生は、

j-syoni@mbox.med.uoeh-u.ac.jpまでご連絡願います。

後日、参加方法の詳細をお知らせいたします。

#### 産業医科大学小児科クリニカルカンファランス (終了)

日時：11月8日 (月) 19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：小児内分泌外来 様々な子どもたち

演者：九州労災病院小児科 河田 泰定 先生

#### 産業医科大学小児科セミナー

日時：11月25日 (木) 18:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

国内留学・外来研修報告会 Part 1

演題1：東京都立小児総合医療センター 内分泌・代謝科  
での研修報告～スタンダードな診断・治療とは～

演者：産業医科大学小児科 齋藤 玲子 先生

演題2：福岡市立こども病院アレルギー・呼吸器科研修で  
学んだこと (+産業医の経験)

演者：産業医科大学小児科 川村 卓 先生

#### 産業医科大学小児科クリニカルカンファランス

日時：12月13日 (月) 19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題1：神奈川県立こども医療センターNICUに

国内留学をして～早産児の循環管理を中心に～

演者：産業医科大学小児科 渡邊 俊介 先生

演題2：福岡市立こども病院での研修報告

～いろいろな科をみて回って学んで来て～

演者：産業医科大学小児科 重田 英臣 先生

※ 12月の産業医科大学小児科セミナーはお休みです。

## 保険診療メモ (202110)

### 新型コロナウイルス感染症対策関連の保険点数 (外来診療) について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い臨時的な取り扱いとして厚労省から様々な事務連絡が出ています。今回は10月1日時点で算定できる外来診療に係るものをまとめました。

#### ○初診からの電話や情報通信機器を用いた診療について R2.4.10事務連絡

医師が医学的に可能と判断した範囲で、初診から電話や情報通信機器を用いて診断や処方ができるようになりました (初診料 (注2) : 214点)。麻薬や向精神薬はどのような場合も処方できません。また、カルテ等により基礎疾患の情報が把握できない場合の処方日数は7日間を上限とし、情報の確認ができない場合は、薬剤管理指導料 (1) に該当する抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤等の処方はできません。処方箋発行をした場合は、予め患者が希望する薬局にファックス等で処方箋を送付して原本を薬局に送るか、後日患者に手渡し薬局に持参させることとなります。ファックス送付先の薬局名を診療録に記録しておいて下さい。乳幼児加算、時間外加算、休日加算、深夜加算等の加算は算定できます。診療にあたっては、「オンライン診療の適切な実施に関する指針」 (平成30年3月) を参照して、患者への十分な説明と同意は必須で、必要なときには対面診療への移行を促します。その実施状況は毎月県に報告する必要があります。医師・患者双方の本人確認については通知文書をご確認ください。また、オンラインによる診療をする医師は厚労省が定める研修 (平成30年3月厚労省策定) を受けることが望ましいとされています。

○小児科外来診療料、小児かかりつけ診療料を届出ている医療機関：6歳未満の患者に対して初診から電話等を用いた診療により診断や処方をする場合は初診料の214点が算定できます (R2.4.24事務連絡)。

○再診時の電話・情報通信機器による診療について  
電話再診料 (73点) を算定し、各種の加算も算定可能です。以前から特定疾患療養管理料等 (小児科療養指導料、てんかん指導料、難病外来指導管理料等) の指導管理料を算定している患者については、特定疾患療養管理料 (2) 147点 (月に1回) が算定できます (R2.4.10事務連絡)。また、検査を実施して後日電話等により検査結果の説明のみではなく、療養上の指導や治療方針の説明を行った場合には電話再診料を算定できます (R2.4.24事務連絡)。

○外来での院内感染防止対策に関する点数 R2.4.8事務連絡  
院内トリージ実施料 (300点) には本来施設基準があり届出を要する点数ですが、臨時的な取り扱いとして新型コロナウイルス感染症患者 (疑いを含む) に対して、「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」 (厚労省) の感染予防策に従い外来診療をおこなった場合に算定できます。届出は不要ですが、算定時にはCOVID-19感染症疑いの病名が必要です。

施設間での算定状況の差が大きく、4割の施設で全く算定されていない一方、来院患者の7割に対して算定されている施設があります。算定は、相応の感染防止策を実施した事例に限られます。また同一例に複数回の算定を行っている施設も散見されます。発症時にはウイルス排泄が始まっているといわれている感染症です。現在では検査を行う環境が整ってきましたので、トリージ実施のみに頼らず積極的にCOVID-19のPCR検査等をご検討ください。同一エピソードで複数回の検査を行われた場合は、必要性について詳記をお願いします。同月内に複数のエピソードがある場合もそれぞれ算定を認めています。その都度転帰をご記入ください。さらに、診療・検査医療機関として都道府県から指定され自治体のホームページに公表されている医療機関は、二類感染症患者入院診療加算 (250点) を合わせて算定できます。

(R3.9.28~R4.3.31臨時措置)

○乳幼児感染予防策加算 (50点) (R3.10.1~R4.3.31臨時措置) : 小児の外来においては特に手厚い感染症対策が必要であることから、6歳未満の乳幼児の外来診療において臨時的な新設がなされています。厚労省が示している「特に必要な感染予防策」 (小児の外来診療における新型コロナウイルス感染症2019診療指針) に従って院内感染防止に留意していることを十分に説明する必要があります。電話等での診療では算定できません。初診料、再診料、小児科外来診療料、小児かかりつけ診療料等において加算できます。今年9月までは100点でした。

○COVID-19感染症の自宅・宿泊療養者への電話や情報通信機器を用いた診療：初診料、再診料に二類感染症患者入院診療加算250点を算定できます (R3.8.16事務連絡) (R3.10.1~R4.3.31臨時措置)。自宅療養者については診察終了後に所轄保健所への文書による報告が必要です。

○COVID-19感染症の自宅・宿泊療養者への往診や訪問診療：救急医療管理料加算1の3倍 (2,850点) の算定が可能で、同一家族で二人目以降の診療についても2,850点の算定ができます。ただし、往診料の算定は一人のみです (R3.9.28事務連絡)。

○医科外来等感染症対策実施加算 (5点) は、9月で廃止になりましたのでご注意ください。

何れも新型コロナウイルス感染症対策での臨時的な取扱いで、変更される可能性があり、今後とも厚労省の事務連絡に注意が必要です。

(福岡県小児科審査委員連絡会)

## 役員会報告 (11月4日：木曜日)

### 協議事項・報告事項

1) 北九州地区小児科医会の会費の集金を行なっております。ご協力をお願いいたします。

2) 第58回定期総会について

2022年1月16日(日曜)リーガロイヤルホテル小倉にて開催予定です。今年は役員改選となります。

受付開始：13:00～

特別講演：13:30～

総会議事：14:40～

懇親会は行ないません。

日時：2022年1月16日 (日) 13:30～

場所：リーガロイヤルホテル小倉3階クリスタルルーム

特別講演：ICTと医療・健康・生活情報を活用した

次世代型子ども医療システム

演者：福岡大学小児科学教室 主任教授 永光信一郎 先生

3) 今月の新型コロナウイルス感染症への対応について情報

交換・協議はありません。

### 委員会報告

1. 学術委員会報告：白川嘉継

2022年

1月 総会

2月 予定 第一三共 てんかん関連 演者未定

3月 未定

2. 乳幼児学校保健委員会：平野稔喜

令和3年度第2回の委員会を10月25日に行いました。内容は北九州健康診査マニュアル冊子作製についてでした。まず作業が 1.冊子構成 2.内容の再検討と校正 3.費用見積であること確認しました。今回は冊子の構成について検討を行いました。そして以下の通り決定いたしました。

1.前書き(巻頭言) 2.各健診アンケート 3.健診マニュアル&指導とQ&A 4.資料集 ①3.の資料 ②北九州地区小児科医会40&50周年記念誌の抜粋

3. 北九州市小児保健研究会

令和3年度第1回理事会の報告：梶原康巨

令和3年10月25日(月) 19:00から、北九州市市庁舎で、令和3年度第1回の理事会が開かれ、理事の交代、令和2年度の事業報告および決算報告、令和3年度調査研究事業及び講演会事業計画などについて話し合われました。

議事の詳細は、来年1月の北九州地区小児科医会総会の庶務報告でご報告いたしますが、以下の講演会を、ウェルとばた大ホールを会場として、新型コロナへの感染対策をしっかりと行った上で、実施することが決まりました。

【日時】令和4年1月19日(水) 19時～

【会場】ウェルとばた大ホール(戸畑区汐井町1番6号)

【講師】小倉医療センター 小児科部長 渡辺 恭子 先生

【演題】低ホスタファーゼ症をはじめとして、  
たまに見られる気を付けたい病気について

会員の皆様には、ご参集ください。

その他、COVID19のため、委員会は行われておりません。